

令和3年10月3日と10月16日の作業の報告です

今回のいただきますの森日記は令和3年10月3日（日）と10月16日（土）の作業の様について、お知らせします。

いただきますの森の定例作業日は、毎月第3土曜日としており、また、その時々で必要に応じた作業を不定期にフレキシブルな日程で参加できる人が参加するというスタイルで作業を行っています。

10月3日は日曜日でしたが、一橋大学の学生団体である「澁澤塾」の皆さんがいただきますの森の作業に参戦してくれるということで城山グラスホッパーズの皆さんに特別招集をかけさせていただきました。

この日のメイン作業は、菜の花の種蒔きです。

種は、のらぼう菜、ムラサキハナナと品種不明のアブラナですが、どれも市民のご厚意で「いただいた」種です。

のらぼう菜は、あきる野市や青梅市などの東京都西多摩地域や埼玉県飯能市周辺で古くから栽培されていたものでセイヨウアブラナの種類の一つようです。苦みが少ないため食べやすく、茹でておひたしやバター炒め、味噌汁の具にしてもおいしいですよ。

ムラサキハナナももちろん食べられます。ムラサキハナナは、別の名を「諸葛菜」や「紫金草」などと呼ばれており、各々由来がありますが、「紫金草」という名の由来は、中国南京市の紫金山に由来し、戦争で亡

くなった人たちへの鎮魂の願いを込めて命名され、「平和の花」として知られているのだと種をくださった方からお聞きしました。

近頃は季節が移り変わり、コオロギの鳴き声が聞こえ始め、夏の生き物たちの姿も少なくなってきましたので、夏の間、様々な生き物の住み処兼食堂だったイネ科の草むらを思い切って刈ってしまい、そこに菜の花の種を蒔くことにしました。

しかし、土中の生き物の環境をなるべく変えないように土を深く掘らず、できるだけ浅く、根を残しながら刈りました。



いよいよ作業開始です。ここは通路になり、固くなっていましたので、草刈り後に少しだけ軽く耕しました。

学生さんたちは生まれて初めて鍬を持ったとのことで、始めはぎこちなかった動作が、何度も鍬を振るうち、だんだんとフォームがそれらしくなってきました。

私たちはこの場所を「イネ科ゾーン」と呼んでおり、夏の間、

ここは原っぱでしょ？と揶揄されても仕方ないくらいにイネ科の植物が大いに茂り、この夏だけでも大量の大小様々なバッタなどの昆虫をはじめ、クモやカエル、トカゲやヘビ、ミミズやモグラなど様々な生き物の生息が確認され、スズメやハクセキレイなどの鳥類も訪れています。

今後は生き物の種を同定し、記録していきたいと思います。

確認される生き物たちを見ていると、余計な手出しをせず、良い意味で放置しながらも管理している、いただきますの森の小さな空間には、生産者から消費者そして分解者へとつながる食物連鎖ができ、「食べる」⇔「食べられる」という生き物たちのドラマが日々繰り広げられていることが想像されます。

いただきますの森は、ミカンや大豆などの作物が育ちながら、同時に生き物の生息場所（ビオトープ）として機能し、命を育んでいます。まさしく人間と人間、人間と人間以外の生き物の接点、交流の場としての役割を果たし始めています。



菜の花の種まきの様子です。三角ホーを使って、土に浅い溝を掘り、種を蒔いていきます。来年の春には黄色と紫の花が咲き誇ってくれることでしょう。

次は、9月に種を蒔いた大根の隣で、順調に育っている小豆の生長を確認します。



学生さんたちは見るものすべてが新鮮な様子でとても真剣に話を聞いてくれます。自然環境と食が密接に関わり合っている仕組みを理解しながら、私たちの口に入る作物ができる過程を知ることが、今後、彼らの環境と食に対する関心やライフスタイルにどのように影響するのか興味深いところです。

澁澤塾の学生の皆さんがこれからも市民と共につくる、いただきますの森の活動に柔軟な発想と行動力を発揮して積極的に関わっていただけることを期待しています。今日から城山グラスホッパーズの仲間です。



作業の終わりに津久井在来大豆の生長具合の確認を兼ねて、少しだけ収穫し、茹でて枝豆として試食してみました。マメコガネやカメムシに自由に食べられながらも、莢は緑色が鮮やか、実はとても張りがある上々の出来具合で、グラスホッパーズの皆さんもほっとしながら、みんなでおいしくいただきました。

---

10月16日（土）午前8時30分から大根の土寄せ作業を行いました。



朝方まで降っていた雨も止み、土も適度に湿った状態で土寄せするにはもってこいでした。

この日は城山グラスホッパーズのベテラン世代が集まってくれました。



土寄せ作業の後は、十分実って茶色くなった小豆の莢を収穫しました。



最後に菜の花の畑で繁茂しつつあるハマスゲの地上部を刈り、この日の作業を終了しました。

次回は、11月6日（土）午前8時30分から、ブルーベリーの植え付け作業を予定しています。

（文責：生活環境部環境政策課花と緑と水の係 長南）